

様式第 6（第 8 条関係）

特定施設設置届出書

和暦〇〇年〇〇月〇〇日

東松山市上下水道事業

東松山市長 宛て

申請者

住所 東京都千代田区〇丁目〇番〇号

氏名又は名称及び法人に 〇〇工業株式会社

あつてはその代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 者印

電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

会社印

代表

者印

下水道法第 12 条の 3 第 1 項の規定により、特定施設の設置について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	〇〇工業(株)東松山工場	※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	東松山市大字新郷〇〇	※受理年月日	年 月 日
特 定 施 設 の 種 類	71 自動式車両洗浄施設	※ 施 設 番 号	
△特定施設の構造(特定施設の使用方法、汚水の処理の方法、下水の量及び水質、用水及び排水の系統)	別紙のとおり。	※ 審 査 結 果	
		※ 備 考	

備考

- △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4 とすること。

1・特定施設の構造

イ 特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置
添付第2図のとおり。

特定施設の名称	型 式	構 造	主 要 寸 法 (たて×よこ×高さ (深さ))	能 力	備 考
71 自動式車両洗淨施設	〇〇－△△	ステンレス門型	2,650×3,600×2,840mm	1台／3分	

ロ 特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	工事完成予定年月日	使用開始予定年月日
和暦〇〇年〇〇月〇〇日	和暦〇〇年〇〇月〇〇日	和暦〇〇年〇〇月〇〇日

ハ その他特定施設の構造について参考となるべき事項

な し

2・特定施設の使用の方法

イ 特定施設の設置場所

添付 第1図 のとおり。（図中の特定施設は**赤線**で記入すること。）

ロ 特定施設を含む操業の系統

~~添付第___表のとおり。~~



↓
排水

※



・・・特定施設

ハ 特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

特定施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備 考
71 自動式車両洗淨施設	10:00～19:00	9 時間	な し	

ニ 特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設の名称	原材料の種類	使 用 方 法	1日当たりの使用量	備 考
71 自動式車両洗淨施設	上水道	洗 淨	2.0 m ³	1 台 0.1 m ³ 1 日 20 台

ホ 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質（当該特定事業場から排出される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。）の通常値及び最大値並びに当該汚水の通常量及び最大量

単位：mg/l (pH, ダイオキシン類を除く)																															
特定施設の名称			汚水の量 (m ³ /日)		温 度 (℃)		pH		BOD		SS		n-ヘキサン抽出物質		窒素		燐		ヨウ素消費量		フェノール類		銅		亜鉛		鉄 (溶解性)				
			鈹油類	動植物油脂																											
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大			
71 自動式 車両洗浄施設			2.0	3.0			7	8			100	200	4	6																	
マンガン (溶解性)		クロム		フッ素		カドミウム		シアン		有機燐		鉛		6価クロム		ヒ素		水銀		アルキル水銀		PCB		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン		四塩化炭素	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
1,2-ジクロロエタン		1,1-ジクロロエチレン		シス-1,2-ジクロロエチレン		1,1,1-トリクロロエタン		1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ほう素		1,4-ジオキサン		アミン性, 亜硝酸硝酸窒素含有		ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

ヘ その他特定施設の使用方法について参考となるべき事項

なし

3・汚水の処理の方法

イ 汚水の処理施設（除害施設）の設置場所

添付 第1図のとおり。（図中の処理施設は**赤線**で記入すること。）

ロ 汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	工事完成予定年月日	使用開始予定年月日
和暦〇〇年〇〇月〇〇日	和暦〇〇年〇〇月〇〇日	和暦〇〇年〇〇月〇〇日

ハ 汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種 類	型 式	構 造	主要寸法	処理能力	処理方式	備 考
油水浄化槽	OSB-16	FRP 4槽式	2.1（長さ）×0.5（巾） ×0.83m（深さ）	1.6～1.8 m ³ /h	浮上分離	

ニ 汚水の処理の系統

~~添付第 〇 図のとおり。~~

洗車機 → 油水分離槽 → 放流（公共下水道）

※ ……汚水の処理施設

ホ 汚水の集水及び汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法

添付 第 1 図 のとおり。（集水及び導水の経路を、**赤線**で記入すること。）

へ 汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

処理施設の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備 考
油水浄化槽	10:00～19:00	9 時間	な し	

ト 汚水の処理施設（除害施設）において中和、凝集、酸化、その他の反応の用に供する使消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設の名称	用 途 別	消耗資材の名称	1日当たりの使用量	備 考
油水浄化槽		な し		

チ 汚水の処理施設（除害施設）の使用時における当該汚水の処理施設による処理前及び処理後の汚水の水質（当該特定事業場から排出される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。）の通常値及び最大値並びに当該汚水の通常量及び最大量

(1)处理前

[illegible]

(2)処理後

[illegible]

リ 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びにその処理の方法の概要

残さの種類	1月間の生成量	処理の方法の概要	備 考
廃 油	1 0 リットル	産廃業者に委託	〇〇〇〇サービス 埼玉県川越市〇〇〇

ヌ 汚水を公共下水道へ排除する方法（排出口の位置及び数）

排出口の位置は添付第 1 図のとおり。 排出口の数は合計_1_か所。

ル その他汚水の処理の方法について参考となるべき事項

な し

4・下水の量及び水質

イ 公共下水道への排出口における下水の通常量及び最大量並びに当該下水の水質（当該特定事業場から排出される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。）の通常値及び最大値。

単位：mg/l（pH, ダイオキシン類を除く）																															
排出口の名称				汚水の量 (m ³ /日)		温 度 (℃)		pH		BOD		SS		n-ヘキサン抽出物質		窒素		燐		ヨウ素消費量		フェノール類		銅		亜鉛		鉄（溶解性）			
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大															通常	最大
最終ます				3.0	4.0			7	8			10	20	3	4																
マンガン (溶解性)		クロム		フッ素		カドミウム		シアン		有機燐		鉛		6価クロム		ヒ素		水銀		アルキル水銀		PCB		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン		四塩化炭素	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
1,2-ジクロロエタン		1,1-ジクロロエチレン		シス-1,2-ジクロロエチレン		1,1,1-トリクロロエタン		1,1,2-トリクロロエタン		1,3-ジクロロプロペン		チウラム		シマジン		チオベンカルブ		ベンゼン		セレン		ほう素		1,4-ジオキサン		アミン酸性、亜硝酸硝酸窒素含有		ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)			
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

ロ その他公共下水道に排除される下水の量及び水質について参考となるべき事項

なし

5・用水及び排水の系統

イ 用水及び排水の系統図

添付第1図のとおり。（用水系統は青線で、排水系統は赤線で記入すること。）

ロ 用途別用水使用量

用 水 別 (m³／日)								
上 水 道		地 下 水		その他 ()		回 収 水		合 計
2.0		—		—		—		2.0
用 途 別 (m³／日)								
ボイラー用水	原料用水	製品処理用水	洗浄用水	生活雑用水	冷却用水	温調用水	その他 ()	合 計
—	—	—	2.0	—	—	—	—	2.0

6・その他の参考事項

業 種 名	自動車整備販売業	操業年月日	平成15. 3. 1	事業場面積	500 m ²
主要製品名	〇〇〇〇	資本金 [円]	8000 千万円		
生産高 [円/月]	〇〇〇〇	従業員数 [人]	全社 1000 人	従業員数 [人]	当該事業場 25 人